

「仙台市図書館振興計画2022」骨子案

～地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館～

目標と施策

方向性1 地域や市民に役立つ図書館となるために（地域の創造性を継承・発展させるとともに、市民の課題解決や探求的活動を支援する地域・市民に役立つ図書館をめざします）

(1) 生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます	①人生100年時代を踏まえ、生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実を図ります ②資料を通じ、心を支え、人と人をつなぐ居場所としての機能を持ち、活力を生み出す場づくりを進めます ③感染症の流行など非常時の図書館サービスのあり方について研究を進めます
(2) 課題解決に取り組む市民の学びをサポートします	①持続可能な社会づくりに向け、SDGsの17のゴールを意識した事業を推進します ②レファレンスサービスの充実を図り、周知に努めます ③関係機関等と連携し、市民の課題解決を推進します
(3) 地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します	①地域情報の蓄積・継承・発信に努めます ②市民や地元事業者等と連携し、地域の歴史や魅力の発掘・発信を進めます ③東日本大震災の記録と教訓を後世に伝承し、将来の災害に備えるために貢献します
(4) 多様な団体と連携し、『学都仙台』の活力を向上します	①大学等教育機関との連携を図ります ②社会教育施設等との連携に努め、市民の多様な学びを支援します

方向性2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために（子どもの年齢や障害の有無に応じた図書館サービスを行う、0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館をめざします）

(1) 乳幼児が読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します	①妊娠期の親への読書支援を推進します ②絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくりに取り組みます ③幼稚園、保育園等での読書活動を支援します
(2) 障害のある子どものニーズに応じたサービスを提供します	①障害のある子どもが利用しやすい資料の拡充に努め、本に触れる環境の整備を進めます ②関係機関と連携し、ニーズに応じた取り組みを進めます
(3) ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します	①中高生の主体的な読書活動をサポートします ②SNS等を活用した広報を推進します ③YAコーナーの充実を図りつつ、電子書籍も含めたYA向けコンテンツの充実を図ります
(4) 学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援します	①オンラインを活用した学校連携の検討を進めます ②学校と連携し、継続的な読書活動や調べ学習のサポートを推進します
(5) 家庭・地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます	①地域の子育て関連施設等と連携し、家族がともに学び、ふれあう機会づくりを推進します ②子どもが本に親しみ、継続的な読書活動につなげるための取り組みを進めます ③読書活動や各種事業を通じ、子どもの心を育み、居場所となるよう取り組みを進めます

方向性3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために（誰もが使いやすく、どこに住んでいても身近に情報が届く、市民一人ひとりに利用しやすい図書館をめざします）

(1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます	①事業者や市民団体等との連携による図書館サービスを研究します ②移動図書館の安定的なサービスを図ります ③電子図書館などオンラインサービスを推進します
(2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します	①超高齢社会に即した図書館サービスの充実を図ります ②図書館を利用しにくい方々へのアウトリーチの強化を図ります ③国際化社会に対応したサービスの充実を図ります
(3) ICT環境の進展など社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します	①電子媒体を活用した発信の強化を図ります ②関連施設やボランティアとの連携により、ITリテラシーに配慮したサポートの強化を図ります

方向性4 自らの変革を進める図書館となるために（図書館資源の適正配分と適切な評価を踏まえた経営を行う、自らの変革を進める図書館をめざします）

(1) 市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します	①利用者のニーズを踏まえ、長期的視野から資料を収集・保存し、活用を図ります ②電子図書館サービスに関する運営方針を確立し、特色あるコンテンツづくりを進めます
(2) めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます	①市民とともに図書館像を実現するため、市民協働事業や広報の促進を図ります ②市民の学びをサポートする地域人材の育成と活躍の場の提供を図り、市民参加を促進します
(3) 図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します	①公共図書館としての安定的なサービスを提供するための課題解決に努めます ②来館型・非来館型サービスの適正な運用を進めます ③費用対効果を踏まえ、サービスのあり方を検討するとともに、財源創出の手法を研究します
(4) 図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います	①数値的成果指標を導入し、図書館サービスの向上に活用します ②市民による評価や意見を図書館運営に活かします
(5) 図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます	①社会環境や課題の変化を捉えつつ、職員に求められる資質と専門性の向上を図ります ②職員間の知識や技術、経験の伝承に取り組み、安定したサービスを提供します ③市民の活動を支える職員を育成します